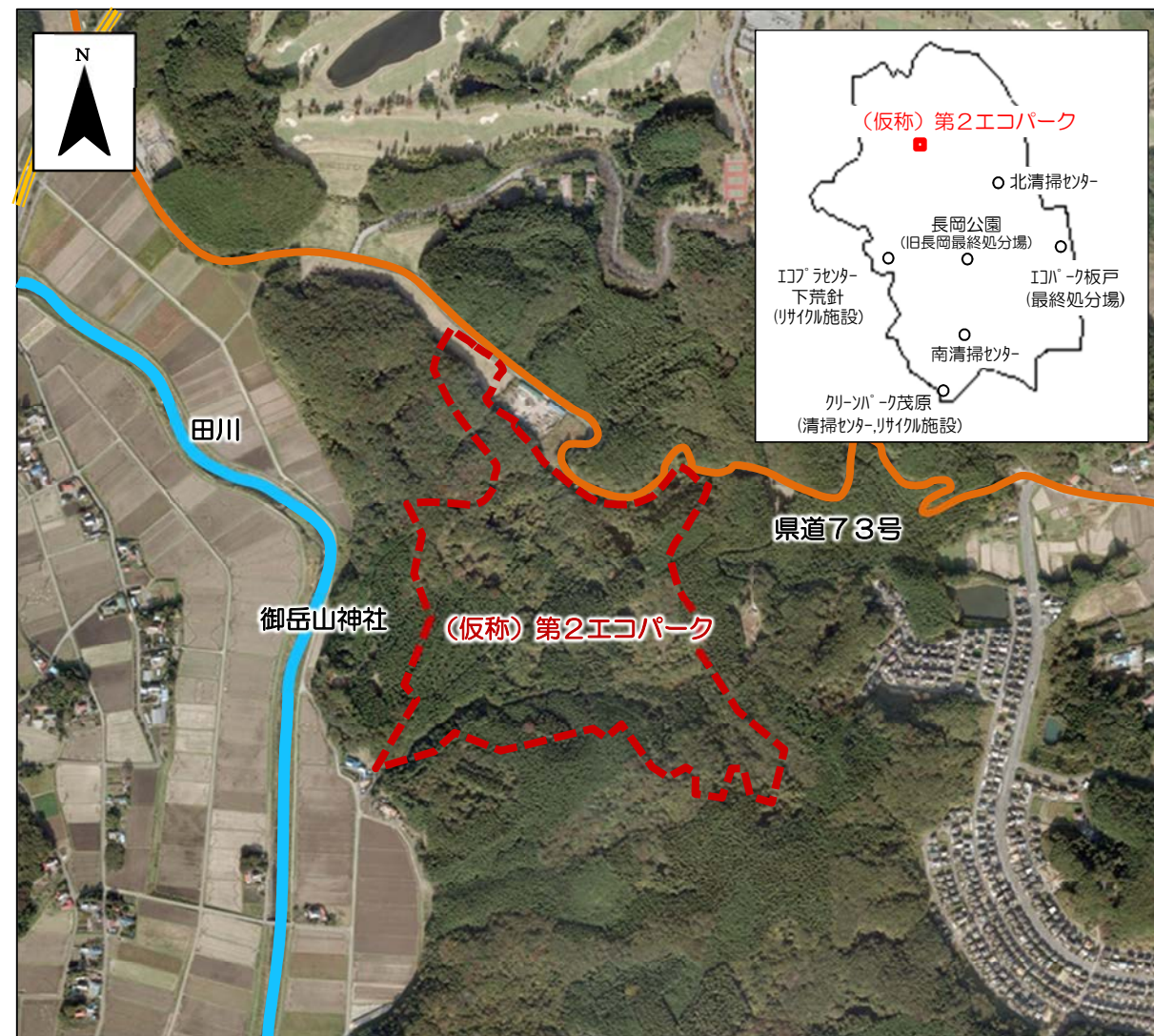


# 「宇都宮市新最終処分場（仮称）第2エコパーク施設整備基本設計」概要版

## 第1章 事業の概要

### 1 事業概要

項目	事業概要
施設の種類	一般廃棄物最終処分場
建設地	宇都宮市下横倉町字苜敷山 ほか
事業区域面積	約26ヘクタール
埋立容量	約290,000m <sup>3</sup> （15年間分相当）
埋立対象物	焼却灰、固化灰（ばいじん）、不燃残さ など
運搬車両台数	10tダンプトラック（専用車両）で1日10台程度
施設の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で安心な施設（最新技術の導入、適正な管理）</li> <li>環境と共生する施設（大気、水、動植物等の生息環境などに配慮）</li> <li>地域と融和する施設（景観との調和、施設の開放）</li> </ul>



【周辺の状況】

## 第2章 施設基本設計

### 1 施設配置

#### 【取付道路】

県道73号の見通しの良い直線区間より進入

#### 【埋立地等】

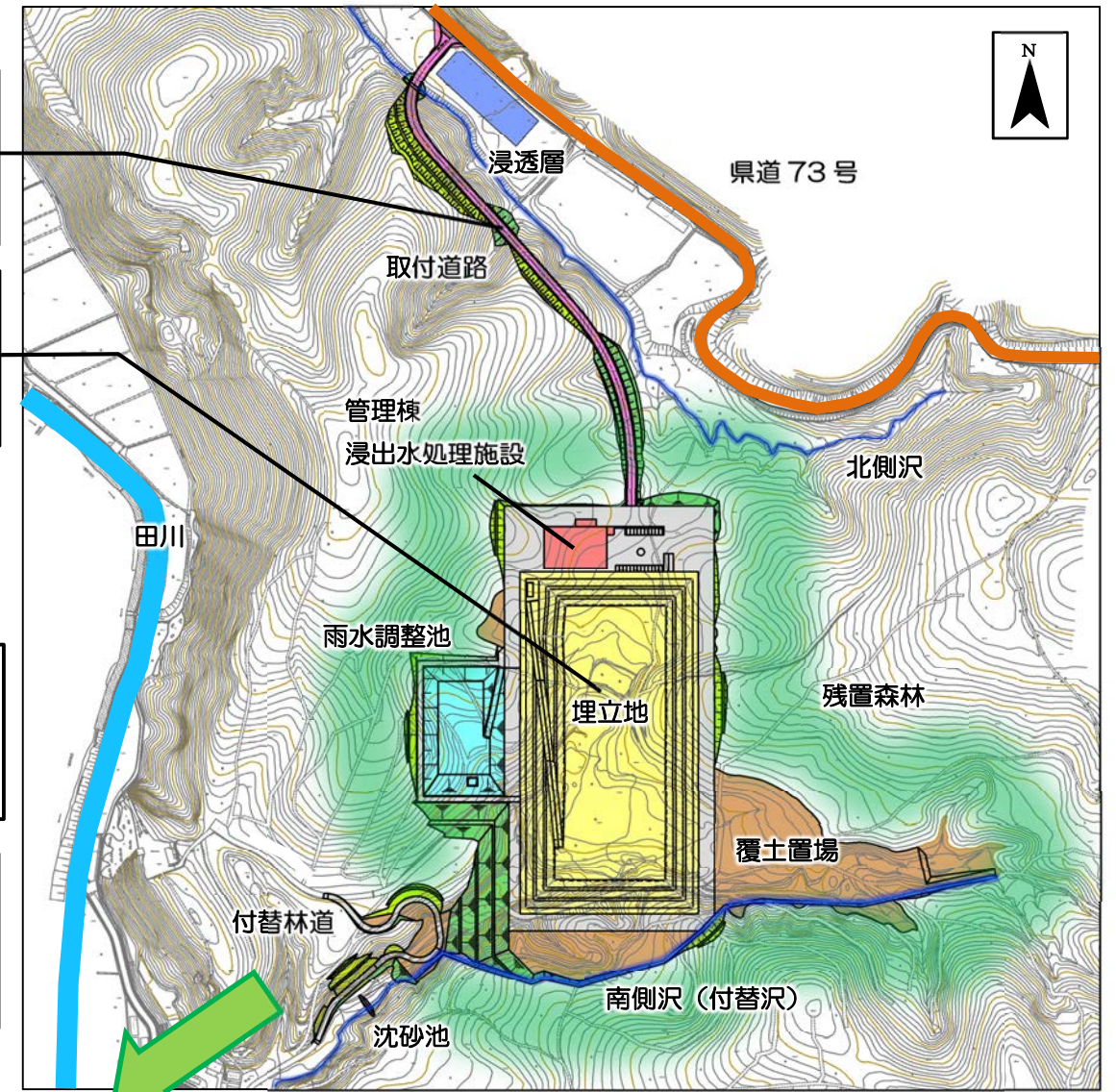
南北方向の勾配が緩やかな地形を利用し、埋立地等を効率的に配置

#### 【処理水放流ルート】

浸出水処理施設から桜橋を横断し、既存の公共下水道に接続するルート

#### 【雨水放流ルート】

雨水調整池から桜橋付近の既存の農業用排水路へ接続するルート



【施設配置図】



【周辺図】



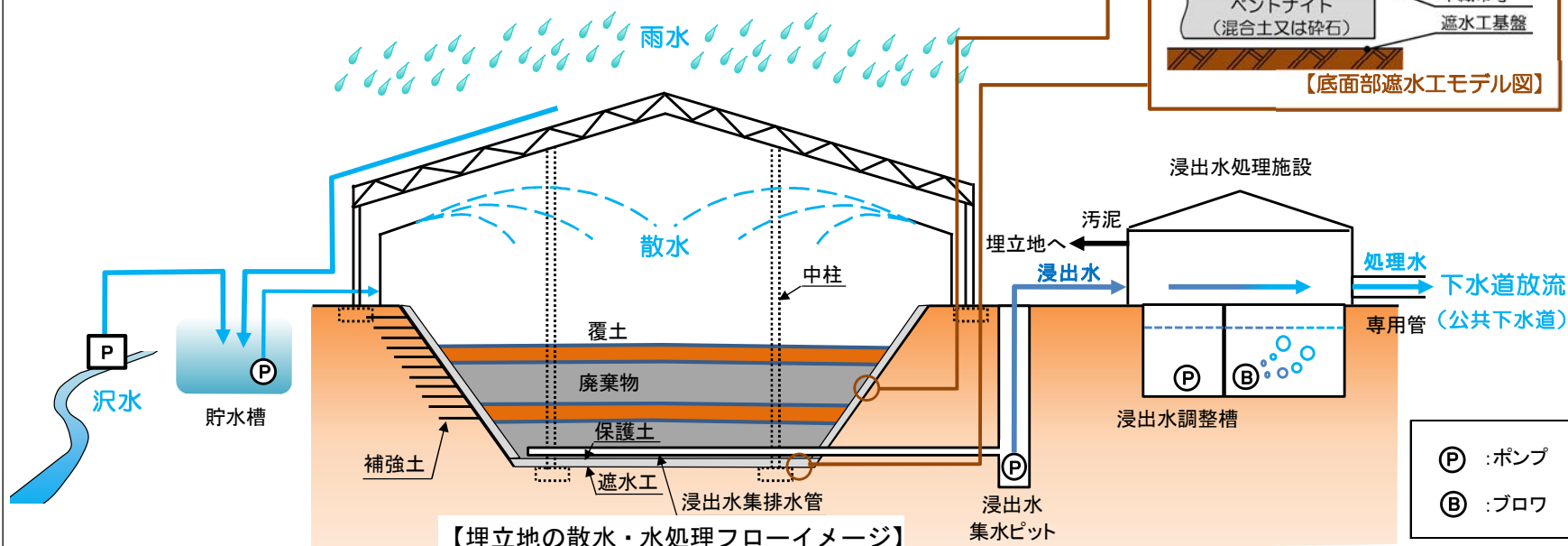
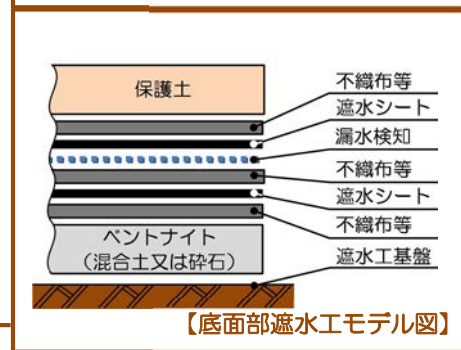
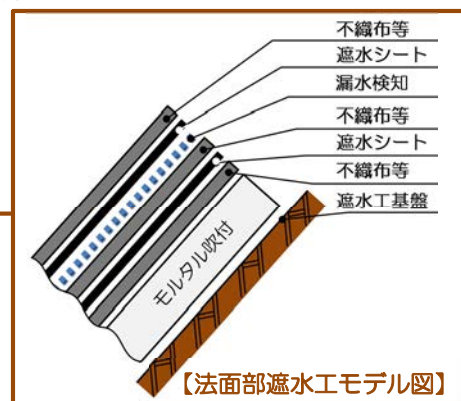
【(仮称) 第2エコパーク イメージ】



## 2 施設設計

- 国の基準や指針等に基づき、適正な施設規模や安全性を考慮した構造等として設計
- 埋立地は雨水の浸入や埋立物の飛散等の防止を図り、効果的、効率的な施設とし、被覆型を採用

主な施設名称		構造や規模等
主要施設	被覆施設	構造：全体被覆方式，鉄骨造 規模：幅約120m×長約230m
	埋立地 貯留構造物	構造：土構造（補強土） 規模：幅約120m×長約230m×深約15m 容量：約290,000m <sup>3</sup>
	遮水工	構造：底面部 二重遮水シート，ベントナイト 法面部 二重遮水シート 設備：電気式漏水検知システム
浸出水処理施設		方式：凝集沈殿処理，生物処理及び砂ろ過処理による方式 能力：約40m <sup>3</sup> /日 放流先：公共下水道（川田水再生センター） 散水：沢水と雨水を利用



主な施設名称		構造や規模等	主な施設名称		構造や規模等
管理施設	管理棟	諸室：事務室，研修室，見学コーナー等 設備：管理棟屋根に太陽光発電を設置（30kW）	関連施設・周辺整備	雨水調整池	規模：幅約60m×長約90m×深約5m 容量：約12,000m <sup>3</sup> 放流先：桜橋付近の農業用排水路
	搬入管理施設	設備：計量設備等（管理棟と一体で設置） 型式：30t秤量		上水	区域：宇都宮市水道事業給水区域内 給水場所：下横倉町側
	環境監視施設	設備：モニタリング井戸等		取付道路	延長：約390m 幅員：7m（2車線道路） 雨水排水：浸透層
	管理道路	位置：埋立地外周等 延長：約800m 幅員：約5m		付替林道	延長：約240m 幅員：4m
			南側沢（付替沢）	構造：環境配慮型の流路工，沈砂池の設置 延長：約440m	

## 3 環境保全

周辺環境を保全するために、環境影響評価や本市自然環境アドバイザーの意見を踏まえ、生活環境及び自然環境に係る環境保全措置を適切に実施

### (1) 環境保全計画値

関係法令等に基づき環境保全計画値を設定

### (2) 環境保全措置

項目	主な環境保全措置（工事中・供用中）
生活環境	・低騒音，低振動型の重機の使用 ・防音シート等の設置 ・沈砂池等の設置
自然環境	・事業区域内の湿地環境の保全 ・付替沢の水辺環境の保全 ・森林の適切な管理 ・確認された希少種 <sup>*</sup> の保全（植物の移植等）



【※確認された主な希少種】

### (3) 環境モニタリング

- 施設の建設工事中，供用中において周辺環境等についてのモニタリング調査を継続的に実施
- モニタリング調査結果を定期的に公表

## 第3章 事業計画

### 1 事業手法

「公設公営」（市が建設し，運転，維持管理を行う）

### 2 発注方式

「設計・施工一括発注」（施設の実設計及び建設工事を一括して行う）

### 3 財政計画

国の交付金や起債を活用し，一般財源を抑制

#### (1) 循環型社会形成推進交付金

交付対象事業の1/3 約26億円

#### (2) 起債

- 交付対象事業分 約44億円
- 交付対象外事業分 約12億円

施設整備費	約93億円
循環型社会形成推進交付金	約26億円
起債	約56億円
一般財源等	約11億円

※ 用地費，補償費は含まない

### 4 整備スケジュール

平成31年度中の完成を目標

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
環境影響評価				
事業者選定等				
取付道路		建設工事		
本体施設			実施設計・建設工事	